

所沢市政宣言

市政宣言

昭和二十五年十一月三日、文化の佳き日に所沢市は、達識先輩の意図を伝承し、市民の奮発と四隣友交の恵沢によつて実現した

所沢市の実現は、郷土の歴史的展開であつて、全市民の祝福と明日への希望を約束する表徴である

所沢市の誕生に当り、行政施策の大綱を明らかにすることは、蓋し当然の責務であつて、市民の輿論に応える所以であると信ずる

吾が親愛なる市民諸君!!

希くは、純粹無雜、真に建設への大局的批判と愛郷の情熱をもつて、この第一声を了とせられたい

行政施策大綱

- 大所沢市の実現は、農商工業の振興対策と併行して、住宅都市、観光都市としての諸施策を推進することによつて成し得べく、即ち市は今後全市民の理解と協力を基調として、この生命線に対する活潑な施策を具体化するであらう。
- 自治体の健全性は、其の大半を財政施策にまたねばならない。地方税法の大改革が将来地方自治体の消長に関する理由も蓋し故なきではないが、要は制度の運用に存する。
宜しく時運を達観し、世局の変遷に対処し、市民生活の現実に即し、以て財政施策に万全を期せんとするものである
- 市民の日常に対しては、より高い文化水準の向上を必須とする、即ち洗練された智性乃至教養の美と健康にして豊かな徳操を素材として、

所沢市独特の文化的個性発揮がのぞましい。

この意味に於ける一切の文化施策こそ重要施策の一と言わねばならない。

本日茲に所沢市実現のこの光輝ある歴史と感激を永く後世に伝え、併せて全市民の心気を新に致さんが為、即ち決意を公にして其の実現を誓うものである

昭和二十五年十一月三日

開庁式において

所沢市長 新井 万平

所沢市議会議長 越阪部 一